

学校教育目標	「夢中がいっぱい左近山の子」～つながる学び(知)・つながる仲間(徳/体)・つながる地域・未来(公/開) ○自ら問題を見付け、見直しをもってよりよく解決する力を育てます。(知) ○自分を律する態度と人を思いやる優しさをもち、自他を大切にすることを育てます。(徳) ○規則正しい生活を心がけ、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体) ○よりよい社会を創るために、地域とともに、自ら考え実践する力を育てます。(公) ○多様性を尊重し、未来を見据えて、共に生きていく力を育てます。(開)			
	創立 10 周年 児童生徒数: 567 人	学校長 徳留 勇 主な関係校: 左近山中学校・本宿中学校 (左近山特別支援学校)	副校長 上床 健太	2 学期制 一般学級: 17 個別支援学級: 6

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力>  <共に支え合う力>  <社会や未来とつながる力>	左近山中学校  左近山小学校  (左近山特別支援学校)	自分で発見 みんなで解決 協力できる左近の子  ・本ブロックで育成を目指す三つの資質・能力をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科等において、テーマを意識した授業を展開する。ブロックで年2回実施する。[10月3日・12月15日] ・児童生徒の交流日[10月26日]に、6年生が中学校の授業を参観し、部活動を体験する。

中期取組目標	○伝え合いを大切にしながら、主体的に学習できる授業づくりを推進し、総合的に学力を向上させます。 [1年目]様々な教育活動に興味関心をもち、めあてをもって取り組めるようになります。 [2年目]めあてにそって自分の考えをもち、振り返ることで学びの自覚化を図ります。 [3年目]伝え合うことで自分の考えと友達との考えを比較し、考えを深められるようになります。 ○一人ひとりが自己有用感をもち、学校生活を楽しく送れるようになります。 ・3年間を通して、自分も相手も大切にできるようにし、自己有用感を高められるようになります。 ○まちの「人」とつながり、豊かな体験を通して、まちとともに心を育て、ともに学び育つ土壌をつくります。 [1年目]地域でふれ合う活動を通してまちとかかわれるようになります。 [2年目]まちの「人」とつながり、体験を通して、充実感を味わえるようになります。 [3年目]多様性を理解し、分かり合い、助け合い、ともに学べるようになります。
--------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>生きてはたらく知</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究・研修部</td> </tr> </table>	知	生きてはたらく知	担当	研究・研修部	①交流を通して、相手意識を明確にしながら分かりやすく伝える力や、他者の感想を聞き、自分と比べる力等を教科横断的に育む。②重点研や小中ブロック協議会を通して、教科で目指す資質能力と教育課程全体で育成を目指す資質能力との関連を図りながら授業改善を進める。
知	生きてはたらく知				
担当	研究・研修部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>心の教育部</td> </tr> </table>	徳	豊かな心	担当	心の教育部	①「ふわふわ言葉」「いいところ見つけ」等の継続した取組やきょうだい学年での活動を通して児童の心を養い、人権意識の向上を図る。②コロナ禍での左近山特別支援学校との交流や芸術鑑賞会では、リモートでの開催も含めて工夫して取り組み、豊かな心の醸成に努める。
徳	豊かな心				
担当	心の教育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育部</td> </tr> </table>	体	健やかな体	担当	体育部	①感染防止対策を講じての体力向上につながる運動を検討し、児童の運動機会を定期的に設定することで運動環境を整える。②再編したカリキュラムを基に、ガイドラインに則った授業に取り組む。教員間で授業内容を相談し合える機会を設定することで授業改善を図るとともに教員の体育科の授業力を高める。
体	健やかな体				
担当	体育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>未来を創る思い</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>生活科・総合部及び特別活動部</td> </tr> </table>	公開	未来を創る思い	担当	生活科・総合部及び特別活動部	①地域でふれ合う活動を学年暦に位置付け、「地域人材バンク」の活用を図り、情勢を踏まえた実践に努める。年度初めに材を選定することで、計画的に取り組めるようにする。②キャリア教育の視点を踏まえた年間指導計画を基に意図的、計画的な実践に努め、児童自身が「自分らしさ」に気付くことができるようにする。
公開	未来を創る思い				
担当	生活科・総合部及び特別活動部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ防止対策委員会	①本校の実態に合った事例研修等を通して職員がいじめへの意識を高め、日頃から児童の些細な言動を見逃さず毅然とした対応に努める。②所定の諸会議、いじめ防止委員会での検討を生かし、児童指導や集会、緊急時の臨時会を重ね、未然防止や初期対応に努め、児童の様子を継続的に見守る。
いじめへの対応					
担当	いじめ防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">人材育成・組織運営(働き方)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究・研修部及び主幹会</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	研究・研修部及び主幹会	①研修は教職員に必須の内容に重点化する一方、「横浜市人材育成指標」を活用し、自らの資質・能力を分析し、さらに高めるためのセルフマネジメントを推進する。②業務時間内での教職員の裁量のある時間を確保し、限られた時間での質の高い学びの実現に努め、児童や教職員にとって持続可能な学校を目指す。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	研究・研修部及び主幹会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	児童指導	①課題を抱える児童についてアセスメントを行い、必要に応じて個別的教育支援計画、指導計画を作成し、適切な支援・指導を行う。②研修を通してユニバーサルデザインについての理解を深め、学校全体での指導と環境整備の両面で行う。
特別支援教育					
担当	児童指導				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">児童指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導</td> </tr> </table>	児童指導		担当	児童指導	①「めざそう左近山の子」を月の生活目標にして、学校全体で取り組む。「左近山小のスタンダード」を学年研で取り上げ、日常的に振り返り、改善する。②子どもの社会的スキル横浜プログラム年間計画をもとに支援検討会を実施し、児童や集団の理解を深め、支援体制を整える。
児童指導					
担当	児童指導				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">地域学校協働活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>主幹会</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	主幹会	①学校運営協議会の計画・運営を通して、左近山中学校ブロック3校が協働して取り組める体制づくりに努める。②学校運営協議会の運営状況を学校説明会や学校だより等で、家庭・地域へ学校運営協議会の意義を周知することで、理解を図る。
地域学校協働活動					
担当	主幹会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					